

イムマヌエル教報

2021. 11

1947年7月1日第三種郵便物認可 2021年11月5日（毎月5日発行）

イムマヌエル綜合伝道団

聖靈があなたがたの上に臨まれるとき、地の果てにまで、わたしの証人となります。（使徒1:8）

No.904

IMMANUEL

あなたは知らないのだから

神学院長 林 正弘



「朝にあなたの種を蒔け。夕方にも手を休めてはいけない。あなたは、あれかこれかどちらが成功するのか、あるいは両方とも同じようにうまくいくのかを知らないのだから。」

（伝道者一一・6）

九月から十月にかけて、新型コロナウイルスの感染者数が目に見えて減少しました。その要因として、ワクチン接種率が上がったなどいくつかの可能性が挙げられていましたが、結論は、専門家もよく分からない、特定できない、という話でした。理由が分からぬのはすつきりしませんし、このまま収束に向かうのか、第六波が来るのかの予想もできません。

私たちは、インターネットなどを通してさまざまな情報を容易に得ることができるようになり、分からぬことがあればすぐに調べて答えを見つけるということに慣れています。逆に言うと、分からぬということを受け入れにくくなっているように思います。しかし、専門家でも分からぬことがあります。私たちに分からぬことはいくらもあります。私たちはその現実を正直に受け止める必要があります。

分からぬことに直面して、なんとか答えを見出そうと努力することがあるでしょう。科学の世界では当然の営みです。逆に、どうせ分からぬのだからと、あきらめたり、責任を放棄したりする人たちもいることでしょう。聖書は、分からぬという現実をへりくだつて認めるとともに、それでもできるだけのことをするように勧めています。伝道者の書では、地上でどう

んなわざわいが起こるかをあなたは知らないのだから、受ける分を七、八人に分けて備えておくようにと語られています。どちらが成功するのか知らないのだから、朝に種を蒔き、夕方も休まずに力を尽くすように命じられています。

感染者数の減少により、自粛要請やさまざまな制限が緩和されました。しかし、この先どうなるかを私たちは知りません。クリスマスの頃にどのような状況になっているのか私たちは分かりません。それでも準備に取りかからなければなりません。来年どのような状況になるのか分かりませんが、計画を立てていかなければなりません。なかなかむずかしいことです。しかし、コロナ禍でなかつたとしても、私たちは将来のことなど分からぬのです。どの選択が最善なのかを知らないのです。それでも私たちは前に向かって進んでいかなければなりません。そのとき、私たちは様子を見るだけで何もしないのではなく、すべてを知つておられる方に信頼して、いま自分にできることを懸命にしていきたいと思います。

私たちが知らないということは、決してマイナスではありません。むしろ、私たちに主の前にへりくだる機会を提供し、主のみこころを求める姿勢を養い育て、主に信頼して積極的に事を行うように導くのです。クリスマスに向かい、新しい年に備える時期を、知らないことの恵みを味わいつつ過ごすことができたならば幸いです。

- あなたは知らないのだから……林正弘……1
- 宣教聖日、同窓会セミナー、JOMAフォーラム……2
- 関東聖化大会、教育局運営委員会、厚生研修会……3
- 海外トピックス、国内教会局コラム、出版事業部……4
- 組織改革検討チーム、信徒フォーラム案内、燭台……5
- 広げた翼……6～8
- 聖宣神学院報……9～11
- 公報、消息……12

目次

Immanuel

世界宣教聖日について

今年の宣教聖日は11月21日

世界宣教のために
祈りと献げ物をもって

世界宣教局長 田辺寿雄

今年の世界宣教聖日は、11月21日（日）です。ぜひこの日の礼拝は、「宣教聖日礼拝」としておさげください、全国の教会とともに世界宣教のためのお祈りにおわりください。また、心からお願いいたします。

11月初旬に局より各教会にDVD、祈祷課題、宣教コイン献金用のシートなどをお送りいたします。

● DVD・ビデオについて

今年のDVDは、局長挨拶、今年台湾に派遣された久保宣教師ご夫妻のお証し、宣教コイン献金の報告とお願い、各宣教師の近況報告、宣教メッセージ（局長）という構成です。礼拝や祈祷会でぜひ活用ください。それぞれの教会の事情や必要にあわせて、部分的に視聴して頂いたり、何度かに分けて視聴して頂いても結構です。

● 宣教コイン献金について

昨年から貯金してください。各教会での集計作業も大変かと思いますが、ボランティアを

募るなどして一部の人だけにご負担が集中することがないようにしていただけたらと願います。

宣教コイン献金シートを作成しました。貯金箱として使う缶や瓶に巻き付けてお使いください。今はケニアの写真が使われています。一円、五円、十円などを少しずつお上げください。各ご家庭で、あるいは個人でお取組みいただけます。小さなお子さんにコインを入れるお仕事をお願いするのも尊いことかと思います。また、教会でも貯金箱を用意し、月々の宣教祈祷会のたびにコイン献金を献げるなど、ぜひ工夫してみてください。少しでも楽しく取り組んでいただけたらと思います。

● 祈祷課題について

今年も祈祷課題をご用意します。必要な枚数を各教会で印刷してください。宣教聖日礼拝で、あるいは宣教祈祷会で、この祈祷課題を使つて皆さんでお祈りください。

● 世界宣教聖日について

何と言つても宣教聖日の醍醐味は、全国の教会が同じ日の同じ時間に、心を合わせて一つとなつて、世界宣教のために祈ることです。教会が、そして私たち一人一人が宣教師を送り出しているというこ

とを思い出しましょ。映像を通して伺う宣教師の報告やお証しをして、関心と祈り心をもつて聞きましょ。宣教のメッセージとチャレンジを受けとめて、自分には何ができるかを考えてみましょ。ご協力をよろしくお願ひいたします。

● 世界宣教聖日について

今年も祈祷課題をご用意します。必要な枚数を各教会で印刷してください。宣教聖日礼拝で、あるいは宣教祈祷会で、この祈祷課題を使つて皆さんでお祈りください。

● 世界宣教聖日について

何と言つても宣教聖日の醍醐味は、全国の教会が同じ日の同じ時間に、心を合わせて一つとなつて、世界宣教のために祈ることです。教会が、そして私たち一人一人が宣教師を送り出しているというこ

とを思い出しましょ。映像を通して伺う宣教師の報告やお証しをして、関心と祈り心をもつて聞きましょ。宣教のメッセージとチャレンジを受けとめて、自分には何ができるかを考えてみましょ。ご協力をよろしくお願ひいたします。

● 世界宣教聖日について

今年も祈祷課題をご用意します。必要な枚数を各教会で印刷してください。宣教聖日礼拝で、あるいは宣教祈祷会で、この祈祷課題を使つて皆さんでお祈りください。

● 世界宣教聖日について

何と言つても宣教聖日の醍醐味は、全国の教会が同じ日の同じ時間に、心を合わせて一つとなつて、世界宣教のために祈ることです。教会が、そして私たち一人一人が宣教師を送り出しているというこ

とを思い出しましょ。映像を通して伺う宣教師の報告やお証しをして、関心と祈り心をもつて聞きましょ。宣教のメッセージとチャレンジを受けとめて、自分には何ができるかを考えてみましょ。ご協力をよろしくお願ひいたします。

● 世界宣教聖日について

今年も祈祷課題をご用意します。必要な枚数を各教会で印刷してください。宣教聖日礼拝で、あるいは宣教祈祷会で、この祈祷課題を使つて皆さんでお祈りください。

● 世界宣教聖日について

何と言つても宣教聖日の醍醐味は、全国の教会が同じ日の同じ時間に、心を合わせて一つとなつて、世界宣教のために祈ることです。教会が、そして私たち一人一人が宣教師を送り出しているというこ

とを下さったか、また若い頃

青少年のキャンプで先生のお証

しが聞けたら幸いだと思いました。

次回セミナーは来年の春です。

のためには竿代師の証しが聞けな

いしました。

アンケートには、神学校の授業

がありました。

かつたのでぜひ聞きたいというも

のもありました。多くの方にお証

しを聞いて欲しいと願っています。

16日は「派遣する側から」の視

点で過去を知り学ぶ、というテ

マで内村サムエル師、福田崇師そ

して野田が証しをしました。

インマヌエル教団は薦田二雄牧

師が神様の導きで教団を設立する

ときから、国内と国外の伝道を進

める、主の大宣教命令をしっかりと

と伝え、聖と宣を大切にして今

まで伝道してきたという宣教の歴

史を語り、また国外宣教局が宣教

師を送っているのではなく、イン

マヌエルの教会、信徒一人ひとり

が祈り、宣教師を送り出している

という意識を大切にしていること、

その取り組みを語りました。

このフォーラムで福音船、ロゴ

ス・ホープ号に乗っている青年宣

教師 中道実由香先生の証しも印

象的でした。牧師家庭に育つたけ

れども、教会から離れ「放蕩娘」

であったと仰っていましたが、神

様の特別な導きで信仰に回復さ

れ、福音船のスタッフとして活躍

されています。主を信頼し、理解

をしないで信じること、選択の大

切さ、Be FAT（柔軟性、適用性、

教えられ易さ）が語られていました。南米の洋上からの語りかけは、

特に若い方々、PK（牧師子弟）、

自分と同じような人への励ましに

なればと語つておられました。

青少年のキャンプで先生のお証

しが聞けたら幸いだと思いました。

次回セミナーは来年の春です。

のためには竿代師の証しが聞けな

いました。

アンケートには、神学校の授業

がありました。

かつたのでぜひ聞きたいというも

のもありました。多くの方にお証

しを聞いて欲しいと願っています。

16日は「派遣する側から」の視

点で過去を知り学ぶ、というテ

マで内村サムエル師、福田崇師そ

して野田が証しをしました。

インマヌエル教団は薦田二雄牧

師が神様の導きで教団を設立する

ときから、国内と国外の伝道を進

める、主の大宣教命令をしっかりと

と伝え、聖と宣を大切にして今

まで伝道してきたという宣教の歴

史を語り、また国外宣教局が宣教

師を送っているのではなく、イン

マヌエルの教会、信徒一人ひとり

が祈り、宣教師を送り出している

という意識を大切にしていること、

その取り組みを語りました。

このフォーラムで福音船、ロゴ

ス・ホープ号に乗っている青年宣

教師 中道実由香先生の証しも印

象的でした。牧師家庭に育つたけ

れども、教会から離れ「放蕩娘」

であったと仰っていましたが、神

様の特別な導きで信仰に回復さ

れ、福音船のスタッフとして活躍

されています。主を信頼し、理解

をしないで信じること、選択の大

切さ、Be FAT（柔軟性、適用性、

教えられ易さ）が語られていました。南米の洋上からの語りかけは、

特に若い方々、PK（牧師子弟）、

自分と同じような人への励ましに

なればと語つておられました。

青少年のキャンプで先生のお証

しが聞けたら幸いだと思いました。

次回セミナーは来年の春です。

のためには竿代師の証しが聞けな

いました。

アンケートには、神学校の授業

がありました。

かつたのでぜひ聞きたいというも

のもありました。多くの方にお証

しを聞いて欲しいと願っています。

16日は「派遣する側から」の視

点で過去を知り学ぶ、というテ

マで内村サムエル師、福田崇師そ

して野田が証しをしました。

インマヌエル教団は薦田二雄牧

師が神様の導きで教団を設立する

ときから、国内と国外の伝道を進

める、主の大宣教命令をしっかりと

と伝え、聖と宣を大切にして今

まで伝道してきたという宣教の歴

史を語り、また国外宣教局が宣教

師を送っているのではなく、イン

マヌエルの教会、信徒一人ひとり

が祈り、宣教師を送り出している

という意識を大切にしていること、

その取り組みを語りました。

このフォーラムで福音船、ロゴ

ス・ホープ号に乗っている青年宣

教師 中道実由香先生の証しも印

象的でした。牧師家庭に育つたけ

れども、教会から離れ「放蕩娘」

であったと仰っていましたが、神

様の特別な導きで信仰に回復さ

れ、福音船のスタッフとして活躍

されています。主を信頼し、理解

をしないで信じること、選択の大

切さ、Be FAT（柔軟性、適用性、

教えられ易さ）が語られていました。南米の洋上からの語りかけは、

特に若い方々、PK（牧師子弟）、

自分と同じような人への励ましに

なればと語つておられました。

青少年のキャンプで先生のお証

しが聞けたら幸いだと思いました。

次回セミナーは来年の春です。

のために竿代師の証しが聞けな

いました。

アンケートには、神学校の授業

がありました。

かつたのでぜひ聞きたいというも

のもありました。多くの方にお証

しを聞いて欲しいと願っています。

16日は「派遣する側から」の視

点で過去を知り学ぶ、というテ

マで内村サムエル師、福田崇師そ

して野田が証しをしました。

インマヌエル教団は薦田二雄牧

師が神様の導きで教団を設立する

ときから、国内と国外の伝道を進

める、主の大宣教命令をしっかりと

と伝え、聖と宣を大切にして今

まで伝道してきたという宣教の歴

史を語り、また国外宣教局が宣教

師を送っているのではなく、イン

マヌエルの教会、信徒一人ひとり

が祈り、宣教師を送り出している

という意識を大切にしていること、

その取り組みを語りました。

このフォーラムで福音船、ロゴ

ス・ホープ号に乗っている青年宣

教師 中道実由香先生の証しも印

象的でした。牧師家庭に育つたけ

れども、教会から離れ「放蕩娘」

であったと仰っていましたが、神

様の特別な導きで信仰に回復さ

れ、福音船のスタッフとして活躍

されています。主を信頼し、理解

をしないで信じること、選択の大

切さ、Be FAT（柔軟性、適用性、

教えられ易さ）が語られていました。南米の洋上からの語りかけは、

特に若い方々、PK（牧師子弟）、

自分と同じような人への励ましに

なればと語つておられました。

青少年のキャンプで先生のお証

しが聞けたら幸いだと思いました。

次回セミナーは来年の春です。

のために竿代師の証しが聞けな

いました。

アンケートには、神学校の授業

がありました。

かつたのでぜひ聞きたいというも

のもありました。多くの方にお証

しを聞いて欲しいと願っています。

16日は「派遣する側から」の視

点で過去を知り学ぶ、というテ

マで内村サムエル師、福田崇師そ

して野田が証しをしました。

インマヌエル教団は薦田二雄牧

師が神様の導きで教団を設立する

ときから、国内と国外の伝道を進

める、主の大宣教命令をしっかりと

と伝え、聖と宣を大切にして今

まで伝道してきたという宣教の歴

史を語り、また国外宣教局が宣教

師を送っているのではなく、イン

マヌエルの教会、信徒一人ひとり

が祈り、宣教師を送り出している

という意識を大切にしていること、

その取り組みを語りました。

このフォーラムで福音船、ロゴ

ス・ホープ号に乗っている青年宣

教師 中道実由香先生の証しも印

象的でした。牧師家庭に育つたけ

れども、教会から離れ「放蕩娘」

であったと仰っていましたが、神

様の特別な導きで信仰に回復さ

れ、福音船のスタッフとして活躍

されています。主を信頼し、理解

をしないで信じること、選択の大

切さ、Be FAT（柔軟性、適用性、

教えられ易さ）が語られていました。南米の洋上からの語りかけは、

特に若い方々、PK（牧師子弟）、

自分と同じような人への励ましに

なればと語つておられました。

青少年のキャンプで先生のお証

しが聞けたら幸いだと思いました。

次回セミナーは来年の春です。

のために竿代師の証しが聞けな

22—32節から「新しい人へ」と題して、ヤコブのペヌエルの出来事からみことばが取り次がれました。人生の危機が私たちには常にあります。これも神からの恵み。ヤコブは、①自己中心から、神中心に変えられた。神は、ヤコブの信仰の勝利を認め「新しい人」とされた。彼は自分ではなく神が戦ってくださるという生き方へと変えられた。②神の臨在に生きる者へと変えられた。足を打たれたヤコブ。神の臨在に生きるのは特別な人ではなく、神の恵みがその人を照らしていること。弱さもあるが、神が働く

の持続に生きるために神が和ががめの人生の主であることを認めよう。そのようにささげる私たちを神は共に働く者として用いられる。神は人を通じて御業をなさる。神の視点で私たちの歩みを見直し、その神を信じて立ち上がるう。

これらのメッセージを講師の体験も交えて語つていただきました。また、幸いなきよめの証しや神学生のオンライン合同賛美のプログラムもありました。聖会に先立つて、女性大会もオンラインで開催されました。いずれも、JHAのホームページから視聴できます。ぜひ、ご利用ください。

青少年部・青年課からは毎月の
「ビルド」の活動報告、5月Y S
Bリトリート、6月Re.（西日
本ブロック青年大会）、9月九州
青年大会等の報告、同・中高生課
からは8月12～13日にオンライン
開催された第14回とにキャントそ
のアンケート報告、同・教会学校
課からは子ども用洗礼準備のしお
りや新企画のトレーディングカー
ド作成プロジェクトに関する報告
等がなされました。併せて、各課
の会計処理に関する調整がなされ
ました。なお各活動が御心の内に
導かれますようお祈りください。

● 説明会についての音声
施設見学（録画）、説明
入居者に聞く
教団の支援金についての説明
参加者の感想
現地参加者は大山祥子先生お一人でした。2日目は16名の先生方がZoomで参加されました。
今回、ご夫妻で参加された先生方が3組おられました。ご夫妻で共に学び、一步先を考える時を持たれたのは、とても良かったたのではないかと考えております。
参加者からは、「実際に入居されている先生のお話を伺えて良かった」、「自分のためにも、また



1月1日(火) 第3回の関東聖化大会が、昨年に引き続きオンラインで行われました。「主の愛の御手の中で」と「変えられ、遣され、育てられ」というテーマで恵みの時が持たれました。

講師は日本ホーリネス教団辻堂キリスト教会牧師、島津吉成師でした。

第一回の聖会では創世記三三・

てくださること。それをお信じて生きることをヨセフの生涯は教えている。神はすべての事を益とされる。②神の摂理を受けとめようとしても、そのまま受けとめられなことがある。そうした時は、悲しみに蓋をしないこと、十字架と共に復活を想うこと、そして苦しみや悲しみの中に神が宝物を隠しておられることを信じたい。③神の摂理で生きるところに神が私にちゃんと

10月4日を持った局運営委員会での協議内容をお伝えします。
教育部・生涯学習課からは、7月の若手牧師研修会報告、10月に持たれる有志牧師対象の「きよめ」をテーマとする研修会に関する準備、今後の研修プログラムの方向性や可能性について報告されました。同・信徒教育課から、8月末の信徒伝道者スクーリング報告、また2名が必要な単位数の学びを終了して認定に進まれるとの報告を頂き、御名を祟りました。

- 主なプログラム
 - 9月27日
ケアハウスの概要説明
入居者を囲んで聞く
施設見学
 - 9月28日（オンライン）
代表のメッセージ
 - 認知症についての学び

聖化の宣証を目指して 第36回 関東聖化大会を開催

今もオンラインで配信中
主の愛の御手の中で

越谷教会 川村和臣

四五・1～15節から「摂理の神に導かれ」として、ヨセフの生涯から神の摂理とは何か。神の摂理とは良い目的をもって私たちを導いてくださること。それを言じて生

教育局運営委員会 会での協議内容をお伝えします。

教育局長 小川宣嗣

ひと足先の未来を 考える研修会



厚生部長 北田直人

●施設見学（録画）
28日に使用した
YouTube リアツ。

- 研修会の目的
先生方に少しでも長く奉仕をし
ていただくため、ご自分の状態を
知つていただき、より良い状態で
伝道、牧会にあたるための手助け
をさせていただくことを目的とし
た研修会です。原則、参加してい
ただくことを願つての研修です。
案内を受け取られたら、ぜひご参
加ください。

● 施設見学
9月28日（オンライン）
代表のメッセージ
認知症についての学び
施設見学（録画）、説明
入居者に聞く
教団の支援金についての説明
参加者の感想
現地参加者は大山祥子先生お一人でした。2日目は16名の先生方がZoomで参加されました。

教育局運営委員会……

10月4日に持たれた局運営委員会での協議内容をお伝えします。

教育部・生涯学習課からは、7月の若手牧師研修会報告、10月に持たれる有志牧師対象の「きよめ」をテーマとする研修会に関する準備、今後の研修プログラムの方向性や可能性について報告されました。同・信徒教育課から、8月末の信徒伝道者スクーリング報告、また2名が必要な単位数の学びを終了して認定に進まるとの報告を頂き、御名を崇めました。

青少年部・青年課からは毎月の「ビルド」の活動報告、5月YSBリトリート、6月Re:（西日本ブロック青年大会）、9月九州青年大会等の報告、同・中高生課からは8月12～13日にオンライン開催された第14回とにキャンとそのアンケート報告、同・教会学校課からは子ども用洗礼準備のしおりや新企画のトレーディングカード作成プロジェクトに関する報告等がなされました。併せて、各課の会計処理に関する調整がなされました。なお各活動が御心の内に導かれますようお祈りください。

青年たちの育成に注力
コロナ禍にあって
オンラインで開催

教育局長 小川宣嗣

厚生委員会の活動…… ひと足先の未来を考える研修会

● 施設見学（録画）
28日に使用した録画データはYouTubeにアップロードしましたので、他の先生方も施設の様子をご覧いただくことができます。

● 研修会の目的
先生方に少しでも長く奉仕をしていただきため、ご自分の状態を知つていただき、より良い状態で伝道・牧会にあたるための手助けをさせていただくことを目的とした研修会です。原則、参加していただくことを願つての研修です。案内を受け取られたら、ぜひご参加ください。

について学ぶことができて良かった」、「ひと足先の未来」の不安が解消されて良かった」、「もう少しありがとう」等々の感想が寄せられました。

組織改革検討チーム

ヒアリングを重ねてきました
今の教団を活かすには
どうすべきかを考える

立川教会 佐藤信行

足を洗つたのであれば、あなたたがたの
たもまた、互いに足を洗い合わな
ければなりません。……それを行
うなら、あなたたがたは幸いです。
(ヨハネ一三・14、17)
昨年6月の年会において、組織
改革検討チームの任命を受け、こ
れまでほぼ月2回のペースでチー
ムでの会合を重ねて来ました。来
年3月の年会までが任命期間とな
りますので、あと残りわずかとな
り、余裕はありませんが、現在は
まとめの段階に入った所です。
チームが立ち上げられて最初の
半年間は、決して組織改革に精通
していると言えるような立場ではな
かつたので、まずこれまでなさ
れてきた組織改革の検討や種々の
議論を、知り、理解し、整理する
所からスタートしました。それと
並行して、各メンバーが現状の組
織の中で気づく問題点や改善案な
どを話し合う期間としました。

社会全体にあるように思います。実際、検討を重ねる中で、常に各部局、各教会、各人の問題対応をきめ細かく考えれば、組織形態はより大きく、複雑化する方向に動きます。しかし、「承知のよう」に限られた担い手の中で、いかに問題を放置せずに、全体が協力して動くことができるかはどの組織でも非常に難しい課題となります。できることはわずかですが、この検討が実際にこれから皆で取り組んで行くためのたたき台となり、示唆となることを願っています。引き続きお祈りにお見えください。

講師は日本同監基督教団理事長で東京キリスト教学園理事長の重責にある朝岡勝先生が引き受けた下さいました。この時代、クリスチヤンとして生きる私たちに「家庭と教会」をテーマにご講演いただき聴くだけでなくお互いがこのテーマについて考え、語り合う機会となるよう期待しております。詳細につきましては既に配布されました案内チラシや教団HPをご覧いただき、オンライン開催ですべてをもつていただければ幸いです。

最初に語ったように、現在はまとめる段階に入っています。一体どんな改革案が出て来るのかと期待というよりも警戒しておられる方もあるかもしれません。検討の中でも話題となりましたが、改革疲れや行き詰まりのようなものが教団のみならず、どの組織でも、社会全体にあるように思います。

うに、全員に万遍なくとは行かない形態ですが、限られた中にも、常に事案を処理しなければならない各部局の会合とは少し距離をおいて、ヒアリングの機会を持つたことは、今回の検討のためのみならず、これまで各部局の責任を担われた器方にも必要なことではなかったかと感じています。

11月23日に開催 第一回信徒フォーラム テーマ「家庭と教会」



壮年部 池田光重



わたしのクリスト

輔氏の『沈黙のちから』(亜紀書房)を読んだ。その中で若松氏は、文豪・芥川龍之介を取り上げている。隨想『西方の人』を紹介し、芥川のキリスト経験に触れていく。芥川にとってキリストは愛さずにはいられない存在だったと評する若松氏は、自身の信仰理解(彼はカトリック教徒)を盛り込みながら、芥川の言う「わたしのクリスト」という表現に注目して、芥川の文章を引用する。「日本に生まれ

い衝動は、殆どながら起つてこない。無論、時間や金銭のことなど高いハードルは幾つもある。行かされている。確かにそうなのだろうが、行動には当分つながらない、と妙な予測が立つ。クリスチャンなのに、ましてや牧師が……そんなこともふと思つたりし

▼「いつか、聖地旅行に行きたいね。」そう誘つてくれる家人の気持ちは素直にありがたい。しかし、自分の中では一向に現実味を帯びていかないのは、どういうわけだろう。時折、映像で知るイスラエルの風景が脳裏をかすめるが、行けるのなら今からでも、という強

古典と呼ばれる書物との（会誌）の必要を強く感じて発信し続ける氣銳の批評家の論評に少し慰めでもらったような気がする。ガリラヤの風を直に身に受けることへの仄かな憧れを胸に收めつつ、ただ、今は、この時にこの場所でキリストの贋いの恵みをいよいよ知り、キリストとともに生きることの幸いを充分に味わわねばと思う。信仰の導き手であるお方を「私の主」（ヨハネ二〇・28）と事あるごとに仰ぎながら。

程に芥川の「ギリヤト愛」は決定的だったのだろう。さらに若松氏は書いている。「たしかに芥川は、二千年前のガリラヤ湖畔でイエスが語る声を聞いてはいない。しかし、彼は長崎の入江に復活のキリストを『覗いている』。▼ポストコロナのこれからを生きるために「本を読む」ことを、しかも所謂

た「わたしのクリスト」は必ずもガリラヤ湖を眺めていない。赤あかと実のつた柿の木の下に長崎の入江も見えている。芥川は、自分が「わたしのクリスト」を語るとき、「歴史的事実や地理的事実を顧みないであろう」と書いているというから、実に大胆だ。それ

(南場安正)

「神が私たちを祝福してください
り 地の果てのすべての者が神
を恐れますように。」（詩篇67・7）
宣教月間を迎えた。この一
年も多くのお祈りと献金、様々な

巻頭言

宣教は「私たち」を通して



世界宣教局
鳴田敬子



広げた翼

Immanuel
His 

Department of World Missions

世界宣教局

<http://www.immanuel.or.jp/world/>

形に表された愛をもつて、宣教の働きをお支えください、共に戦つてくださった皆様に心より感謝を申し上げます。21日の宣教聖日に合わせて、今年も宣教ビデオをお届け致します。コロナの感染拡大や、国際情勢の変化の中、各宣教地において、主がどのように働いてくださるか、皆様のお祈りがどのように応えられているのか、ぜひご覧ください、共に主を讃美させていただきたいと思います。また、さらに理解をもつてお祈りいただきたくお願い致します。

今は他の国への渡航が非常に制限されている時です。残念ですが、継続してきた宣教訪問団も実施を見合わせ、まだ再開の目処は立つていません。しかしこれをお読みの方々の何人が、かつての宣教訪問月間を迎えました。この一年も多くのお祈りと献金、様々な

問団に参加されたかと思うと、心に高鳴りを覚えます。空港に降り立った時のムツとする空気、匂い、さざめきのように耳に飛び込んでくる聞きなれない言語、笑顔で近づいてくる人は敵なのか味方なのか、という緊張感……。その場に行つて初めて共有できる宣教師の日常や異文化の実情を経験された方々が、あちこちの教会にたくさんおられるということを考えるのは、本当に楽しく、励まされることです。教報の宣教師の報告を読む時、「ああ、のことね」と少なからず理解し、何を祈るべきかをわかつてくださる方々、と言えるのかもしれません。もちろん直接見聞きする機会がなくても、深い洞察力をもつて祈つてくださる方々がおられることが事実ですが、知らないということや想像力が少し足りないことから生まれる誤解や勘違いも少なくはないですから。宣教の働きを考えるとき、「もつと知りたい」思いと共に、自分の教会と、そして自分自身の毎日と、私たち皆がその宣教の働きの一部として用いられていることを喜び感謝です。どの文化や宗教の下に生きて来られた方々であっても、「地の果てのすべての者」の神であられる御方は唯お一人であり、遠い海の果てに住む方も、職場で机を並べる方も、神に愛され、その愛を「私たちを通して」神が知らせようとしておられることがあります。

私は他の国への渡航が非常に制限されている時です。残念ですが、継続してきた宣教訪問団も実施を見合わせ、まだ再開の目処は立つていません。しかしこれをお読みの方々の何人が、かつての宣教訪問月間を迎えました。この一年も多くのお祈りと献金、様々な



恭子の甲状腺嚢胞について、検査後、主治医とこれからの治療

います。

フィリピンではコロナのデルタ株が猛威を振るい、各地で感染による死亡者が出ています。

私たちにとって身近な人たちにもその猛威は及び、マニラ日本語キリスト教会を早期から支えてこられ、またフィリピンに赴任以来

いろいろな面で私たちを助けてくれました。私たちには、昨年度は聖書大学に併設されたウェスレアン・アカデミーのオンラインクラスで学んでいましたが、今年度はホームスクールに取り組んでいます。ホームスクールの運営者と頻繁にコミュニケーションを取りながら、恭子が子どもたちをサポートしています。

子どもたちは、昨年度は聖書大学に併設されたウェスレアン・アカデミーのオンラインクラスで学んでいましたが、今年度はホームスクールに取り組んでいます。ホームスクールの運営者と頻繁にコミュニケーションを取りながら、恭子が子どもたちをサポートしています。

私たちが住むロサリスでも市場への買い物の制限（外出許可証の提示、週3回まで等）が再びかけられ、夜間外出禁止も継続されています。お二人のご遺族のために主の慰めと励ましを祈るばかりで



PHILIPPINES

フィリピン

豊田常喜・恭子 * 2021年10月7日

について相談するために予約しているのですが、現在、その診療所が閉じられた状態で（もしかすると関係者に感染者が出たのかもしれません）、予約が延期になつて います。

改めて予約の日時は連絡があるので、いつになるかもよくわかりませんが、待つて いる状態です。そういうして いる内に、感謝なことに恭子の甲状腺の腫らみ自体はほとんど見当たらなくなりました。■

KENYA

ケニア・テヌウェク

葛田就子 * 2021年10月9日

9月初頭、自動車免許をこの手に。お祈りを感謝！手術室の合鍵作成、ベビー服等頼まれ買い物もでき感謝。

ベビー服はもうすぐ出産予定のS宣教師への贈り物。もともこしてた服は、S宣教師が荷物の総量を見ながら出発間際まで出したり入られたりして結局諦めた服とほぼ同じだった。どうで、大変喜ばれたと後で伺い感謝。

J宣教師夫妻の再赴任後、彼女の働きに献金する事を決めました。

「みことばを宣べ伝えなさい
時がよくても悪くてもしつかりや
りなさい。」(Ⅱテモテ4:2)と
パウロが後継者テモテに書き残
した聖句について、ある文筆の賜物
を通して主が用いておられるご考

ておりました。しかし、その背後に両親として、神様との歩みの善き模範を示す責任を示され、その重要さを力説して、御夫妻は毎晩就寝前にもつ家族3人での祈りの時が、ダビデ君の今

ましたら幸いです。またKCCの教会内伝道と靈的成長、救靈力のためにみことばが顯著に力強く、ベ伝えられるよう祈りながら感謝とともにご報告とさせていただきます。■

地域の特に女性に心を碎いた神女を記念し、WGMケニアから地域女性に聖書を配り、学ぶ会を通して「自分で」聖書を読むことを助け、必要のある女性に家畜購入や手作りの伝統家屋建設支援等をしているタビタ・ミニストリー（使徒の働き九章36節）と、数か月のコースで裁縫、作った物の販売、貯金を教え、コース終了まで

とにお祈りいただいています発達障害を抱えたダビデ君も、学校の成績、聖書の知識などに秀でた成長を見せており、特に旧新約聖書の通読は6回！その知識たるや時々お父さんの記憶を超えるほどのこと。霊的面にも神様を愛し聖霊のチェックに対する鋭敏さが養われてきて、怒りや自己主張の後、「ごめんなさい」が直ぐに言える子どもとなってきたことです。

に心痛めつづご報告を認めており
ます。腐敗した政治の下にあるカンボジアを変える唯一の道は、聖靈による回心によるのみ、「我ただ祈るのみ」と振り出しに戻されました。10月12日に裁判の座も開かれず、裁決宣告がされるという報告ですが、引き続き主の御名を呼び奉り御心がなされます事を信して、祷告者の皆様方にも御礼を申

所用で地方に出た宣教師が、現地の方に「新型ウイルスはネットで捏ねられたデマでしょ?」と言われ、「病院で奉仕しているのでも実際に患者さん方を目にしているのですが……。」と返答した話を聞きました。温度差が色々あるようですが、■

の家族がどれだけみことばを「教え、責め、戒め、また勧め」る」とを「しつかりやつてているか」が問われている時です。

祈りの課題として祈つておりますが、9月最終日に定例のスヌードルでカンボジアのヴァンディ先生、途中から顔を出された

9月30日の予定でしたので、今度こそと正義の勝利を期待して祈つておりましたが、またしても空振り、裁判官も告発者も姿を現さず、弁護士たちだけ、グレッグ師も入室を許されず、中で何をしているのかも分からなかつたといふあり様だったようで、後から10月

愛したジヤカラソダの植樹予定です。
9月末には世界宣教局の局長会。ズームで日本や宣教地の先生方と会議がゆるされました。そして宣教ビデオの仕上げ。録音で囁む、編集が消える、送信ボタン前で字幕ミス発見、送受信も何千回間かかかりましたが、無事受理さ

齢の伝道者との語らいの中でおしゃられたことが心に留まりました。「現代は教会の外の人々よりも教会の中にいる人々にみことばを語るようにと言わわれていると申します。」まさにカンボジア宣教における課題は「教会内に要するみことばの宣べ伝え」が問われております。

日ある恵みであることを篤く語つておられるのを聞きながら、メソジストの家族の誕生！と感謝するとともに、その歩みの完成者なる主に期待をおき、祈り合つて終了となり。なおご一家のためにお祈りください。

9月の末には中秋節の連休もあり、教会の方などから月餅を頂いたりもしました。台湾の月餅は日本ものに比べるとかなり大きく、餡の中には塩漬けになつたゆで卵の黄身が入つてゐるものもあります。本物が変わると食習慣もそれなりに変わることをこのよくなことを通して日々体験する毎日です。

9月30日には久保が、その翌日にはせきなが、新型肺炎の台湾国産ワクチン「高端」の2回目接種までの礼拝が再開されて以来、9月の間も二級警戒は継続されていました。集会の持ち方などについては同じような状態が続いています。

9月6日まで、台湾では鬼月の期間でした。農暦（旧暦）の7月1日から30日まで（太陽暦では8月8日から9月6日まで）。

鬼月の間は、「あの世」の扉が開き、靈がこの世に戻つてくるとされており、その靈たちのために（街中では以前より減つていています）軒先にお供えを並べ、線香を焚き、模造の紙幣を燃やす普渡という儀式があちこちで行われます。牧師の居住しているマンションや、教会が入つているテナントビルの入り口でも普渡の儀式が行われていました。

台湾の人口に占めるクリスチヤンの割合は10%ほどと言われますが、他の宗教や土着的な習俗もまだ根強く残つてゐることを思

8月の第一の主日礼拝から対面での礼拝が再開されて以来、9月の間も二級警戒は継続されていました。集会の持ち方などについては同じような状態が続いています。

9月6日まで、台湾では鬼月の期間でした。農暦（旧暦）の7月1日から30日まで（太陽暦では8月8日から9月6日まで）。

鬼月の間は、「あの世」の扉が開き、靈がこの世に戻つてくるとされており、その靈たちのために（街中では以前より減つていています）軒先にお供えを並べ、線香を焚き、模造の紙幣を燃やす普渡という儀式があちこちで行われます。牧師の居住しているマンションや、教会が入つているテナントビルの入り口でも普渡の儀式が行われていました。



9月の間は、台湾では鬼月の期間でした。農暦（旧暦）の7月1日から30日まで（太陽暦では8月8日から9月6日まで）。

鬼月の間は、「あの世」の扉が開き、靈がこの世に戻つてくるとされており、その靈たちのために（街中では以前より減つていています）軒先にお供えを並べ、線香を焚き、模造の紙幣を燃やす普渡という儀式があちこちで行われます。牧師の居住しているマンションや、教会が入つているテナントビルの入り口でも普渡の儀式が行われていました。

わされます。

IWFの広がる翼、深まる絆

薦田康毅

9月28日の局員会は、長年の願いが叶い、IWFから3組の宣教師をお迎えしました。

GPからはホワイト宣教師ご夫妻、WGMからは帰国直前のホーリー宣教師、そしてIWF加入当時に奉仕されていた久芳宣教師の孫にあたる久芳宣教師ご夫妻が参加してください、日本語でルカ9章から小礼拝を導いてくださいました。それ流れ暢な日本語で近況やお働きを紹介してくださいました。宣教師の先生方の熱い思いを感じ、感動しました。宣教地から参加した私たちの宣教師の中には、IWFの協力で奉仕する者もあり、宣教の翼が大きく広げられ、絆が深められている祝福を感謝したことです。



◆引き続き集会人数制限が出されている中、対面礼拝と並行して行われている教會の嘗みが主によつて用いられるように

香港（鹿島）

◆ご両親の認知症看護で3か月間帰国されたマーク宣教師が疲れを覚えておられるとのこと、良き解決が与えられるよう

◆福音大学の学生たちと先生たちがオンラインクラスでうまくコミュニケーションが取れ、靈肉と精神を無事に終えることが許されました。副反応も重篤なもののはほぼなく守られていることが感謝です。

◆聖書大学の学生たちと先生たちが、この活動が祝され、ウクレレの音楽を通して、主の恵みが表されるようにお祈りください。

◆危険から守られますようにお祈りください。
◆対面が再開されたところから、教会では有志が集まって、ウクレレの練習が始まりました。初心者が多いので最初は簡単な曲からですが、この活動が祝され、ウクレレが、この活動が祝され、ウクレレの音楽を通して、主の恵みが表されるようにお祈りください。

お祈りの課題

◆会計報告9月分
宣教献金 三、二五〇、八七〇円
月平均 一、八三八、〇六〇円

◆台湾（久保）

◆新型肺炎の感染がさらに抑えられ日常が取り戻されていくように再開している学校や幼稚園で感染の爆発がないように

◆対面の集会に新しい方が集われるようになります。台中教会がこの時代、この地にあって豊かに用いられるために知恵と力が与えられるよう



TAIWAN

台灣

久保光彦・せきな*2021年10月7日

◆経済的な戦いの中を逃れていた教會の方々の上に豊かな助けが与えられるように

◆だいぶ感染が落ち着いたので、状況の変化の中、近隣への働きに新たな導きが与えられるように

◆国安法の下で激しい変化の中を通されている香港社会の平和と政治的安定のため

◆カンボジア（薦田緑乃）

◆ご両親の認知症看護で3か月間福音大学の学生たちと先生たちがオンラインクラスでうまくコミュニケーションが取れ、靈肉と精神を無事に終えることが許されました。副反応も重篤なもののはほぼなく守られていることが感謝です。

◆福音大学の学生たちと先生たちが、この活動が祝され、ウクレレの音楽を通して、主の恵みが表されるようにお祈りください。

◆危険から守られますようにお祈りください。
◆対面が再開されたところから、教会では有志が集まって、ウクレレの練習が始まりました。初心者が多いので最初は簡単な曲からですが、この活動が祝され、ウクレレが、この活動が祝され、ウクレレの音楽を通して、主の恵みが表されるようにお祈りください。

子どもとなる特権が与えられました。神さまによって造られ、贖われ、生かされている私たちは、主の栄光のために生きるという、すばらしい目的が与えられています。一人ひとりが主から与えられた目的に沿って生きることが幸いです。

伝道や教会の奉仕に携わることが主の栄光のためとは限りません。自分の栄光のために奉仕することだってありますからです。主が自分のために備え、導いてくださる道を主への愛と感謝をもって歩むことが主の栄光のために生きることです。私にとっては、生涯を獻げて主に仕えることがその道であつたことを感謝しています。

「わたしの名で呼ばれるすべての者は、わたしの栄光のために、わたしがこれを創造した。これを形造り、また、これを造った。」

（イザヤ四三・7）

個人的なことになりますが、先月、私は50回目の受洗記念日を迎えた。小さなスタートでした。が、その日から今日まで守り導いてくださった主に感謝を捧げました。洗礼式当日の記憶は曖昧な部分が多く、その集会で何が語られたのかなど、まったく覚えていません。しかし、後からその日に冒頭のイザヤ書のみことばが語られたと聞かされて以来、これが生涯でいました。しかし、主イエスの

の基調となる聖句になりました。イザヤが語った当時のイスラエルは、とてもほめられた状態ではありませんでした。42章の終わりにも描かれているように、神の民でありながら神の語りかけを聞くこともせず、さばきを受けてもそれを心に留めませんでした。そのようなイスラエルに対して、主は「わたしがあなたを贖つた」と語りました。

（イザヤ四三・7）



後期のクラスが始まりました 薦田聰毅先生の集中講義のクラスです

主の栄光のために

院長・林 正弘

十字架の恵みにより救われ、神の子どもとなる特権が与えられました。神さまによって造られ、贖われ、生かされている私たちは、主の栄光のために生きるという、すばらしい目的が与えられています。一人ひとりが主から与えられた目的に沿って生きることが幸いです。

伝道や教会の奉仕に携わることが主の栄光のためとは限りません。自分の栄光のために奉仕することだってありますからです。主が自分のために備え、導いてくださる道を主への愛と感謝をもって歩むことが主の栄光のために生きることです。私にとっては、生涯を獻げて主に仕えることがその道であつたことを感謝しています。

先日、久しぶりにキャンプ場でのキャンプをしました。と言つても泊りではなく、日帰りのデイ・キャンプです。夜にオンラインの集会があつたので、午前中に出発し、夕方前には帰つきました。キャンプ場は山と川に囲まれた、とても気持ちの良い場所でした。

キャンプ場へ着くと、この日はテントは使わず、タープと呼ばれるシートだけを張りました。少し雨が降つていて、雨しのぎの屋根にもなります。タープに当たる雨の音が、なんとも心を和ませてくれます。昼食は途中のコンビニで買ったおでんとソーセージ、それに飯盒で炊いたばかりのご飯です。今回のご飯は少し芯が残つて硬くなつてしましました。いわゆる「めつご飯」です。

食事のあとは、ゆっくりと焚火の時間です。雨は降つたりやんやりだったので、ぎりぎり焚火もできました。いつものようにコーヒーの豆挽きから始まり、焚火の火で沸かしたお湯を注いで出来上がつた一杯のコーヒー。ひと口すくっては大きく「ハア～」と息を吐きだし、しばらくしてまたすつて「ハア～」、この繰り返しです。焚火の火を見ながら、また目の前の森の木々や川、小さな滝を見ながら、聞こえてくるのは川の音、雨の音、そしてコーヒーをする音のみの静かな時間が過ぎていきました。

ゆつくりと過ごす焚火とコーヒーの時間は、神さまとともに過ごす時間も、このように静かに、そしてゆつくりと過ごすようにと教えてくれます。コーヒーをひと口飲んでは「ハア～」と息を吐く。これをゆつくり繰り返すように、神のみことばを一つ読むごとに「ハア～」と息を深く吐くようにして思い巡らしてみる。一つのみことばを、ゆつくり、丁寧に、そして何回か繰り返して読んでみる。周りの景色を見回すように、そのみことばを通して自分の生活を見渡してみたり、心の動きを探つてみたり、言動を振り返つてみる。

聖書を読むことや祈ることを、急ぎすぎていたかなあと反省させられます。神さまとの時間を、テレビのCMのように早送りしたり、ネットの画面を見るようにさっさと進めようつとしたり。短くて良いこともありますが、ゆつくり時間を受けたほうが良いこともあります。神さまとは、急がず慌てずに、落ち着いてゆつくり静かな時を過ごせる者であります。

聖宣神学院報



Immanuel
Bible
Training
College

田辺寿雄

緊急エッセー
キャンプに行ってきました
コーヒーをするように



公報

本部通達

[東日本エリア]

村岡忠至（札幌）

岩上敦郎（仙台）

櫻井和人（大宮）

越山信行（中目黒）

大塚一雄（八王子）

光澤英生（高津）

[中部エリア]

小原一夫（浜松）

内田信也（清水）

[西日本エリア]

岸川萌木（王寺）

福岡義信（香川）

[南日本エリア]

未定

牧師アドバイザー

東日本 館和人

中 部 高山清和

西日本 蔦田聰毅

南日本 南場安正

寺村真弓

吉村百合恵

葛田美雪

葛田聰毅

葛田真理子

[地域聖会]

◇東関東聖会／11月3日（水）

講師＝古波津保秀師

YouTube配信

◇静岡聖会（DVD聖会）

*追加任命

信徒局アドバイザー

葛田聰毅

[国内教会局]

（会議） 8日（月）～9日（火）

教団運営委員会（OCC）

（予算書承認・責任役員会・人事

委員会）

感謝

10月21日の教団創立記念日を覚

え、各教会では記念礼拝が行われ

ました。困難な状況下にもかかわ

らず感謝献金を実施してください

ましたことを心より感謝申し上げ

ます。

▼信徒局エリアの各担当者が次の

通り任命されました。祝福をお祈

りいたしましよう（敬称略）。

エリヤコーディネーター

東日本 前田敦（武藏村山）

中部 鈴木あゆみ（岐阜）

西日本 坂岡隆司（京都伏見）

南日本 山城明（那覇）

たします。そのため写真・紹介文（100字程）・集会時間などの情報をお送りください。

送付先＝京都伏見教会

igmkyoto@outlook.jp

と幸いです。

（教育部・生涯学習課）

▽10月から始まった8週間のeラ

ーニング「ウェスレーを学ぶ」（藤

本満師）は途中からでも受講可

能です。記入し

て窓口＝野田禪師へメール提出を。

（stnoda@gmail.com）

■世界宣教局

11月4日（木）午

（教育部・信徒教育課）

▽運営委員会

11月4日（木）午

（教育部・信徒教育課）

▽信徒向け聖書講座（各教会・個

人で自由に視聴可能、無料）

内容＝「使徒の働き」の学び（第

11回目まで公開中）

講師＝岩上敬人師（JEA総主事）

教団公式サイト「教育局＝信徒教

育課」からアクセス可。

（青少年部・青年課）

▽世界宣教献金や宣教コイン献金

に引き続き協力よろしくお願ひ

いたします。

（IWF関係）

▽ロビン・ホワイト宣教師は、11

月に小松教会と金沢教会で賛美、

証し、説教のご奉仕をされます。

マンガミニストリー（ドロー・ブリ

ッジ・クリエーションズ）の働き

と共に、覚えてお祈りください。

▽ホーリー宣教師は、10月にアメ

リカへ一時帰国されました。

（教区会）

◇11月1日（月）四国教区会

◇11月14日（日）中国教区会

教団のホームページに一教会に

つき1ページで教会紹介を掲載い

関心のある方は、教会の牧師を通じてぜひ窓口にご連絡ください。

（青少年部・C/S課）

▽子ども用洗礼準備のしおりは今

月中に発送されます。

■聖霊神学院

▽後期教会実習 受け入れ教会に感謝いたします。

石川順兄 東京フリー・メソジス

ト桜ヶ丘教会

林眞光兄 シオン・キリスト教団

蒲田教会

森徳子姉 インマヌエル中目黒教会

▽神学院祈り会は11月1日（月）、

試験的にオンラインで行いました。

▽秋の教師会は11日（木）にオ

ラインで開催します。

▽アラムナイ・セミナーは11月

16日（火）、セミナー（石田学師）

▽午前10時、午後7時半・総会＝

午後2時（すべてオンラインで）

▽「後援会たより」第10号が発行されました。

（消情報）

会場＝那覇教会

講師＝岩上祝二師

（教区会）

深川教会

▽ビルト（「YS」から改称）

会合＝毎月1度、テーマを決めて

Zoomで開催中。毎回15～20名

程度の方々が参加中。担当窓口＝

吉村和記師、川村和臣師

教育局

*教育局のホームページが絶えず

更新されています。ぜひアクセスして、個人&教会でご活用頂ける

yosi@bethania.or.jp 余裕をもって相談されることがあります。介護等のご相談、希望する施設についての説明が可能です。

教報PDFパスワード＝3579